
















真庭SDGsパートナー宣言書

企業・団体名 JA晴れの国おかやま農業協同組合真庭統括本部
 代表者名 統括本部長 海原康雄

次のとおり真庭市とともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs目標（ゴール）（○を入れてください。）複数選択可

 (1)貧困 1 貧困をなくそう	○	 (2)飢餓 2 飢餓をゼロに	○	 (3)保健 3 良好な健康と福祉を	○	 (4)教育 4 質の高い教育をみんなに	
 (5)ジェンダー 5 ジェンダー平等を推進しよう	○	 (6)水・衛生 6 安全な水とトイレを世界中に		 (7)エネルギー 7 安全で持続可能なエネルギーを	○	 (8)成長・雇用 8 働きがいも経済成長も	○
 (9)イノベーション 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	○	 (10)不平等 10 人や国の不平等をなくそう	○	 (11)都市 11 住み続けられるまちづくりを	○	 (12)生産・消費 12 つくばないしつかう責任	○
 (13)気候変動 13 気候変動に具体的な対策を		 (14)海洋資源 14 海の豊かさを守ろう	○	 (15)陸上資源 15 陸の豊かさを守ろう	○	 (16)平和 16 平和と公正をすべての人に	○
 (17)実施手段 17 パートナリシップで目標を達成しよう	○						

2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

JAまにわでは「人と自然を大切にし、社会の発展と豊かな暮らしの実現に貢献します」という基本理念と、共に助け合うという協同の精神の下、様々な事業を展開しています。

一次産業である農業と、それを取り巻く人々や地域の皆様の暮らしを支えること。そして「ゆりかごから墓場まで」を合言葉に、健康福祉活動や、生きがい作り、地域の子どもたちへの食農教育も重点的に行い、地域への貢献活動と暮らしやすい地域づくりに努めます。また農業の担い手を育て、未来の真庭を支える人材の育成にも力を注ぎます。

JAグループ岡山では瀬戸内海の牡蠣殻を使った資材で育った米を「里海米」として販売。「海で育った牡蠣殻を肥料にして米を作り、田畑から栄養豊富な水が海に戻り、また海の牡蠣を育てる・・・」というストーリー性のある環境保全型事業を通して海と里を守る活動を始めています。

また今年度からフードバンクを通じて生産者組織から子供食堂などに、真庭産米の寄付を予定しています。

企業・団体の事業等において、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にどのように貢献するか、1で○を入れたSDGs目標（ゴール）の達成にどのように貢献するかなどを記載してください。